



今月の表紙

日光杉並木マラソン



8月3日(日)、晴天にも恵まれて、第3回日光杉並木マラソン大会が開催されました。真夏のマラソン大会として定着しているこの大会には、日光市内はもとより、県内各地や関東近県、さらには北海道、熊本県など遠方からの申し込みもあり、総勢2,634名の選手は、3km・5km・10kmの計13部門に分かれてそれぞれのペースでゴールを目指しました。

例幣使街道を往復する大会コースは、前半が下り後半が登りとなる厳しさ。しかし、出場した選手たちは、杉並木が作り出す木陰のトンネルの中をすがすがしい汗を流しながら駆け抜けました。

10km・一般女子の部で2位に入賞した斉藤和子さん(埼玉県越谷市)は、昨年に続き2回目の出場。「コースが日陰なので思ったより涼しいし、起伏に富んでいて楽しかったです。夏の大会は少なくて、杉並木マラソンは貴重な大会なので、これからも毎年出たいですね」と話してくれました。



日光のホッケーチーム、グラクソ・スミスクラインの選手が参加して、交流会も行われました(写真③)。

8月7日(木)から10日(日)までの4日間、今市青少年スポーツセンターで、全国スポーツ少年団ホッケー交流大会が行われました。大会には、市内からの14チームを含め、北海道から鹿児島県まで男女合わせて計56チームが参加。開会式では、男子代表の永吉夏樹さん(今市第三小学校)と女子代表の村山美穂さん(大桑小学校)が選手宣誓を行い(写真②)、大会での健闘を誓いました。

猛暑の中、熱い戦いが繰り広げられ(写真①)、男子は糸生ホッケースポーツ少年団(福井県)が、女子は春照ホッケースポーツ少年団(滋賀県)が優勝しました。市内からのチームは女子で、豊岡中部大桑ホッケースポーツ少年団が準優勝、小百スポーツ少年団が3位に輝きました。

全国スポーツ少年団ホッケー交流大会

ヒメマスサミット

7月12日(土)、中宮祠でヒメマスサミットが開かれました。地元の中禅寺湖漁業協同組合をはじめ、5つの漁業協同組合や県水産試験場などが参加し、貴重なヒメマスの資源保護や安定供給確保への連携強化などについて協議しました。

また、独立行政法人水産総合研究センターの東照雄氏が講演を行い(写真)、ヒメマス生産技術の現状や資源安定のための方策、今後の展望などについて話しました。



JR・東武直通特急列車100万人達成イベント

平成18年3月から始まった、JR新宿駅と東武日光・鬼怒川温泉駅を結ぶ特急列車の直通運転。利用者100万人を達成した7月12日(土)に、鬼怒川温泉駅で記念イベントが行われました。



100万人目を乗せた列車の到着に合わせて、地元の関係者などが迎え、記念品を配りました。また、駅入口では、郷土芸能「龍王太鼓」が披露されるなど、多くの人が参加しました。



多くの関係者が、100万人目となった大竹さん親子と前島さん夫婦を祝福しました。

100万人目の乗客となったのは、旅行で鬼怒川温泉を訪れた大竹さん親子(東京都)と前島さん夫婦(埼玉県)のグループ。花束や写真立てなどの記念品が贈呈されました。感想を聞かれた前島さん夫婦は、「あまりにも偶然でびっくりしました」と話していました。

栗山ふるさとサマーウォーク



7月27日(日)に栗山ふるさとサマーウォークが開催されました。コースは、湯西川(23km)、川俣・奥鬼怒(17km)、川俣・瀬戸合峡(11km)、日蔭牧場(12km)の4つが用意され、全コースを合わせ、813名が参加しました。

参加者は、山あいの美しい景色を楽しむとともに、おいしい空気をいっぱい吸いながら、ウォーキングに汗を流しました。

龍王祭

7月18日(金)～21日(月)、鬼怒川温泉と川治温泉で、龍王祭が開催されました。鬼怒川温泉駅前広場で開催された前夜祭では、ライブショーや本神輿の渡御などが行われました。本祭は、例年どおり神輿が温泉街を練り歩き、花火が打ち上げられとてもにぎやかでした。鬼怒川温泉街では、芸子連による踊りや地元歌手による歌の披露が行われました。



露、川治温泉街では、川治太鼓の演奏やビュウ大会も行われました。浴衣を着て、友だちと遊びに来た松浦公恵さんは、「浴衣は、おばあちゃんが着せてくれました。小さいころは、家族と来ていましたが、最近は友だちと一緒に来ます。龍王祭は、毎年出店がたくさん出ているので楽しいです。今日はまだ何も買っていないので、これからいろいろ買いたいです」と話してくれました。



会場にはたくさんの出店が並び、大勢の人でにぎわっていました。

2008日光夏の花火



8月1日(金)、大谷川河川敷で日光夏の花火が開催されました。開始直前に雨が降り出しましたが、予定どおり行われ、1時間にわたって、約5,000発の花火が夏の夜空を彩りました。大きな花火が上がると、会場から拍手が起る場面も見られました。また、川沿いの道には、たくさんのお店が並び、大勢の人でにぎわっていました。

日光和楽踊り



8月8日(金)、古河電工日光事業所で日光和楽踊りが開催されました。会場は数千個のイルミネーションで色鮮やかに飾られ、大勢の人が和楽池内に設けられた2基の櫓の周りを踊りました。家族で訪れていた佐藤さん(久次良町)は、「日光の夏ですね。子どもたちも毎年楽しみにしています」と話してくれました。



# リレー

## 孤立地区物資輸送訓練

【7/7】

この訓練は、市と(株)間中屋(日光猿軍団)とが平成18年11月に締結した「災害時における防災活動協力に関する協定」に基づいて行われました。

(株)間中屋所有のヘリコプターを使用し、大雨で湯西川が孤立したとの想定で、霧降スケートセンターから安らぎの森のキャンプ場まで、救援物資の輸送訓練を行いました。



文・写真：総務課

## いきいき健康教室

【7/9・足尾】

毎月2回、原体育館で足尾双愛病院と昭和大学の協力により、いきいき健康教室が開かれています。

今年で6年目となり、医師や看護師、市体育指導員が、地域の方を対象に転倒防止、脳の活性化体操などを指導しています。

年末の体力テストでは、体力年齢が何歳若くなるか？毎年楽しみに参加しています。



文・写真：足尾総合支所総務課

## 安らぎの森四季オープン

【7/17・栗山】

湯西川の安らぎの森に湯西川ダム水源地域整備事業により建設を進めていた、市自然体験交流センター安らぎの森四季が完成しました。

この施設は、宿泊室や研修室などを備え、周辺には、バーベキューが楽しめるいろり、焼き小屋や、炭焼き体験ができる炭焼き窯、溪流釣り堀があります。ぜひご利用ください。



文・写真：栗山総合支所観光経済課

## 青年会議所が絵本を寄贈

【7/25】

創立35周年を迎える(社)日光青年会議所は、戦場ヶ原を舞台として語り継がれている伝説を絵本にしました。絵本は、日光、足尾地域の幼稚園児や保育園児に配布し、市内小学校の図書室にも寄贈するため、市へ目録を贈呈しました。

将来を担う子どもたちには、ふるさとの歴史と伝統を守ってほしいと願っています。



文・写真：日光青年会議所

## 県消防操法大会入賞

【7/26・日光】

県消防学校において、県内消防団各支部の代表チームが、ポンプ車の部(9チーム)と小型ポンプの部(7チーム)に分かれて出場し競い合いました。

市からは、日光消防団第8分団がポンプ車の部に出場し、見事3位入賞を果たしました。今後、この入賞を励みに、日ごろから訓練を重ねて、消防活動に役立てていきます。



文・写真：日光消防署

## 生き物調査

【8/3・日光】

いずみネットワーク(代表加藤昭徳)は、農地・水・環境保全向上対策事業として、小川の生き物調査をしました。当日は、子どもから大人まで約70人が参加。大人は昔に戻り、子どもたちと一緒に小川に入り、網を使って魚や虫などを捕りました。

捕った生き物は、水槽に入れて観察したり、名前を調べたりしました。



文・写真：いずみネットワーク

## 地域のニュースを募集します!!

このコーナーでは、皆さんから記事・写真の投稿を募集しています。

募集する記事 自治会の催しや、地域のちよつと珍しい出来事、心温まるエピソードなど

※内容によっては掲載できない場合があります。応募方法 記事に写真を添え、住所・氏名・電話番号を明記の上、郵便かEメールで送付するか、持参でご応募ください。

○記事：140字程度(題名、日付、場所を別に記載してください)

○写真：紙焼き・デジタルデータどちらでもOKです。ただし、携帯電話のカメラで撮ったものなど、大きくした際に画像が荒れるものは不可とします。

あて先 〒321-1292 日光市今市本町1番地 日光市役所企画部秘書広報課 広報広聴係 Eメールアドレス hishokouhou@city.niiko.lg.jp